

※本選評は編集部で制作したサンプルであり、実際の応募作をもとにしたものではありません。
※下記の選評は、3次選考通過作を仮定して制作したものです。

2***年10月
電撃文庫編集部

第***回電撃小説大賞 4次選考 選評シート

作品名:***

この作品は 3次選考 を通過しました。

3次選考通過作は 応募総数**作品中**作品 です。

評価その1

項目	A	B+	B	B-	C	総合	コメント
ストーリー		○				B+	世界設定がよく練られており、魅力的なファンタジー作品に仕上がっている。この世界に入りこんでみたいと思わせる力のある世界観だった。ただ、冒頭部でその設定提示のボリュームが多すぎ読者をつまずかせてしまうので、ストーリーの進行と絡ませながら読者をこの世界にもっとスムーズに馴染ませる工夫が欲しかった。キャラクターはそれぞれの目的意識が明確で、ひとつひとつの行動の成否に一喜一憂できるような緊張感があつたが、ときおり現代的な思考が顔をのぞかせるのが気になった。もっとこの世界に根差した思考や行動原理を徹底して欲しかったところ。
キャラクター		○					
設定	○						
オリジナリティー		○					
文章力			○				

評価その2

項目	A	B+	B	B-	C	総合	コメント
ストーリー			○			B+	重厚なハイファンタジー世界の構築を目指した野心ある作品。細やかな情景描写や考えられた小道具の配置など、リアリティをだすための工夫が随所に見られる点は好印象だった。ただし、序盤に世界観などの説明が集中しているため、圧倒的な情報量にややとっつき難さを感じてしまった。もう少し情報を小出しにするなど、読み手にすんなりと受け入れられるための配慮が必要だろう。また、練りこまれたファンタジー世界が魅力的なのは間違いがないが、その中でこの作品しか持ち得ない個性をあまり感じられなかった。ストーリー自体も王道をいくものなので、真新しさという点で目を惹く部分がなかったのは惜しいところだ。何か一点でも、この作品を特徴づける要素、欲を言えば読み手の印象に残るインパクトが欲しかった。
キャラクター		○					
設定	○						
オリジナリティー			○				
文章力			○				

評価その3

項目	A	B+	B	B-	C	総合	コメント
ストーリー			○			B	まず設定の細かさには驚かされた作品でした。ですが、それを提示しようとするあまりに本文が説明だらけになってしまい、登場人物が生々しくしていなかったように思えます。セリフに重みとリアリティをもう少し盛り込めていたなら、ドラマティックなシーンがさらに盛り上がり、主人公にも感情移入できたかもしれません。物語全体を通してみても、キャラクターが台本通り動かされている感があり、シーンの臨場感が足りなかったところも残念です。ファンタジーの醍醐味であるドキドキする冒険感を意識してほしかったところですが(特に見せ場であるラストのバトルシーンでは敵との駆け引き&セリフのやりとり、疾走感が欲しかったです)。とはいえ、物語自体はまとまっていて構成力は高く、安心して読める作品でした。次はキャラクター同士のドラマに重点を置いて書いてみてはいかがでしょうか。次回作に期待します。
キャラクター			○				
設定		○					
オリジナリティー			○				
文章力			○				

第××回電撃小説大賞 4次選考 選評シート

評価その4

項目	A	B+	B	B-	C	総合	コメント
ストーリー		○				B	正当派ファンタジーという趣の作品でしたが、世界観が作り込まれているため違和感を持たず読むことができました。一方でやや残念だったのは物語のポイントであるはずの異界の特徴付けが甘かったこと。またステレオタイプな設定であればいっそ説明を省略するなど情報を絞り込めば、より注目すべき「本作の特徴」がはっきりするのでは。ストーリーはよくまとまっており、キャラクターがそれぞれ役割を果たして盛り上げる、王道のストーリーになっていました。ただし、ストーリー先行でキャラ同士のやりとりの変化が薄いこと、中盤以降で先の展開が見えてしまい、それ以降が段取り的に見えて緊迫感がやや失われているのが気に掛かりました。終盤までの展開が見えたところで一気に畳みかける、またはさらなる逆転劇を仕掛けるなど、ドラマに緩急が付くような演出を意識するとさらに面白くなると思います。次回もぜひご応募ください！
キャラクター			○				
設定		○					
オリジナリティ			○				
文章力			○				

評価その5

項目	A	B+	B	B-	C	総合	コメント
ストーリー		○				B	世界観がきちんと練り込まれており、好感の持てる作品でした。お話もうまくまとまっており、読み応えがあったように思います。ただ、まとまりすぎている印象があり、オリジナリティが感じられなかったのが残念な点。キャラクターがステレオタイプな印象でしたので、もう少しキャラクターの個性を際立たせるとさらに良くなると思いました。特に中盤以降ヒロインがあまり目立たなかったのがもったいなかったです。キャラクター数が多すぎてヒロインが他のキャラに押されてしまっているのもその要因かもしれません。キャラクター数をしぼり、メインのキャラクターにもっと特徴を持たせるよう心がけてみて下さい。
キャラクター			○				
設定			○				
オリジナリティ			○				
文章力			○				

※各項目のA～Cの評価は、**第4次選考** における選考基準のものです。